

普段は聞けない、教員・学生の
「想い」をインタビューしてみました！

沖縄キリスト教短期大学
地域こども保育学科

地域と繋がる 『ちいこど』

「保育科」から「地域こども保育学科」へ名称を変更した同学科。
そこにはどのような想いが込められているのでしょうか。
※「ちいこど」は地域こども保育学科の愛称です。

キリ学キリ短の「今」が分かる

キリガク通信
キリタン

DISCOVER OCU/OCJC
2025年1月6日発行 第5号



2024/5/30
授業「乳児保育Ⅱ」

「地域」の二文字 にこめられた想い

沖縄キリスト教短期大学 保育科は、これまで長年にわたり取り組んできた教育活動をより具体的に示すため、「地域」「こども」「保育」の3つを視点として、2024年4月より学科名称を「地域こども保育学科」に変更しました。本学保育科が積み重ねてきた教育活動を基に、沖縄という「地域」を軸として、これからの時代に求められる保育・幼児教育の在り方、こどもの健やかな発達を保障するための教育に取り組んでいます。

「沖縄の地域社会では『人』が宝物。こどもを大切にしっかりと育てていくこと、そして、そこに携わる人々を育てていくことは、沖縄のこれからの繋がっていくことだと思っています。」

こう語るのは、同学科の学科長を務める、大城りえ教授。保育科の時代から、約25年間、教員として多くの保育者の育成に尽力してきました。「地域」というキーワードに込められた想いについて、大城教授は、「地域の皆様、現場の先生方に支えられながら、保育科・地域こども保育学科は、これまで歩み続けることができました。これからも、感謝の気持ちをずっと持ちながら歩んでいく。保育者を育てて送り出していく。これが使命です。」と語ります。

学生にとって、地域での実習やサークル活動はとても貴重な経験です。例えば、「地域の視点」で保育や幼児教育の課題を理解することができたり、「相手の立場に立って考えコミュニケーションが取れるスキル」に繋がることも。

そして「実際の現場にでると、それが学生たちの強みになる」と話し、「だからこそ感謝の気持ちをもちながら、何が地域に貢献できるかということを考えていきたい」と想いを語りました。

学科長・教授 大城 りえ

「地域こども保育学科」学科長、教授。「りえ先生」の愛称で学生に親しまれ、最近ハマっている韓国ドラマが、学生とのコミュニケーションに役立っている。専門分野は発達心理学。



遊んで、拾って、楽しんで、繋がる 遊ぶ

地域のイベントに参加し、講義で学んだ手遊びやパネルシアターを通じて子どもたちを楽しませる活動に取り組み児童文化研究サークルとスマイリー・スマイリー。

何か子どもたちのためにできることはないかと活動を始めた伊礼さん。公演の内容を考えることは難しいが、子どもたちの反応や公演後の「ありがとう」という言葉が嬉しいと話します。

もともと人前に立つことが苦手な安慶名さんは、公演中に子どもたちが笑顔を見せたり楽しんでいる様子を見ると、大きな喜びを感じて話します。そんな安慶名さんは今年度、絵本の楽しさを広める「認定絵本土」の資格を取得しました。



(写真左より)
伊礼 晴夏さん、安慶名 優月さん
児童文化研究サークルのリーダーを務める伊礼晴夏さんと、スマイリー・スマイリーのリーダーを務める安慶名優月さん。



2024/8/4(日)
糸満市立中央図書館のイベント「夏休み子どもげきじょう」にて
児童文化研究サークル&スマイリー・スマイリーによる合同公演

拾う



2024/11/27(水)
クリーン活動
(WLOサークル)



(写真左より)
上原 小夏さん、島袋 なつ美さん
玉木 利音さん、新城 真利星さん
WLOサークルのサークル長を務める島袋なつ美さんとメンバーの皆さんからのメッセージ
「周りのゴミに目を向けて、沖縄の環境について一緒に考えよう！」

地域の公共施設や学校周辺の清掃活動を行うWLO (We Love Okinawa) サークル。自分たちの住む沖縄の環境について考えます。

現状、道路沿いに落ちていたゴミはとも多いですが、ほとんどの人はそれを目にしても「拾う」ことができないことが寂しく、どうにかできないかという思いから活動を始めたサークルメンバー。活動を通じて、地域が綺麗になっていく様子や、サークルの仲間、地域の人々とのつながりができて、心が温かくなると話します。

ゴミ拾いは、普段見過ごしがちな場所にも役立っているきっかけとなり、保育活動にも役立っているそうです。彼女たちは、世の中に沖縄の環境に対する意識がもっと広がることを願っています。

楽しむ



(写真左より)
新垣 日奈子さん、亀川 ほのかさん
加茂 咲雪さん
「わいわいプラザinキリ短」リーダーを務める3名。学内のお気に入りスポットは、多目的スペース「ユニオン」！みんなで集まり課題をすることが多いそう。

制作準備は、実習期間と重なり厳しかったものの、それ以上に楽しみだったと話していたリーダーたち。

当日は200名を超える親子の皆様がご来場になり、楽しんでいただけました。

昨年度ボランティアとして参加した垣さんは、前回の反省点を活かして、今年度は運営リーダーとして活躍しました。

保育士養成のための授業「地域子育て支援実習」の一環として、学生自身が企画・運営する地域子育て支援イベント「わいわいプラザinキリ短」。2年生が親子で楽しめるゲームや、乳幼児向けのアクティビティの企画・制作をしています。



2024/12/14(土)
わいわいプラザinキリ短

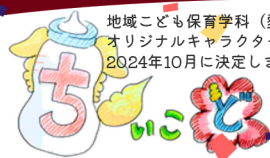


ちいこど 速報

ちいこど
オリジナルキャラクター
が決定しました！



地域こども保育学科(愛称:ちいこど)の
オリジナルキャラクター&ロゴを募集し、
2024年10月に決定しました！



「ちいこどTシャツ」つくりました！！

